

令和4年度 学校評価 自己評価書（1学期）

1 学校の重点目標

- 心の教育の充実 「自ら考え、判断し、行動する生徒の育成」
- 「確かな学力」の育成 「主体的・対話的で深い学びの視点に基づく授業改善」
- 心を育てる予防的生徒指導の充実 「心に届く指導、見届け・フォローのある指導」
- 体力・気力の向上と保健・安全指導の充実 「自分の命は自分で守る意識及び態度・習慣の育成」
- 人権同和教育の充実 「いじめ・差別のない、自他を尊重する生徒の育成」
- 教職員の資質・能力の向上 「研究テーマに基づく累積研究」
- 業務改善の推進

2 課題と改善策 ※4段階評価

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
心の教育	1 望ましい人間関係の確立	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳科の時間を核とした心の教育の充実や実践化を図っている。 ・ 清掃時間の無言作業の徹底、ボランティア活動の推進を図る必要がある。
	2 人権尊重と生命に対する思い	B	
	3 道徳教育の充実	B	
	4 ボランティア活動等の充実	B	
学力向上	1 指導計画の工夫・改善	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸検査やテスト等を活用して指導計画を工夫できているので継続したい。 ・ ICTの効果的な活用について更に推進する必要がある。
	2 ICTの積極的な利活用	B	
	3 指導と評価の一体化を踏まえた実践	B	
	4 個に応じた指導の充実	B	
生徒指導	1 生徒指導体制の強化	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭との連携を密にして、課題解決に取り組んでいる。 ・ 関係機関とも積極的な連携に努める必要がある。
	2 予防的生徒指導，学校環境の把握	A	
	3 生徒会活動の充実と積極的な推進	B	
	4 家庭や地域・関係機関との連携強化	B	
体力向上	1 自分の命を守る意識・態度等の育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察による非行防止教室を通して意識の高まりがみられた。 ・ 交通安全指導等の機会を捉えた安全指導の充実を図る必要がある。
	2 ガイドラインの方針に基づいた部活動の充実	A	
	3 性教育・喫煙・薬物乱用防止教育等の充実	B	
	4 熱中症予防、新型コロナ対策等の充実	A	
人権同和教育	1 人権感覚の育成と認識を深める指導の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修資料等を活用して更なる資質向上を図る。
	2 人権同和教育に関する研修の深化、資質の向上	B	
資質向上	1 授業や実技を通じた研修の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修の充実と校外研修への積極的な参加を推進する。 ・ 定期的または機会を捉えた周知・指導を引き続き行う。
	2 使命感をもった職務の遂行	B	
	3 職責・服務規律の厳正確保、不祥事根絶の徹底	A	
業務改善	1 「正規の勤務時間を超える勤務が、月45時間以内」を意識した業務改善	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1Actionの共通理解及び1Tryへの意識向上を図る必要がある。
	2 「1Action」、「1Try」等による業務改善の推進	B	

3 次学期（年度）に向けての取組

- 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして、ICTの積極的な利活用（使いながら慣れる）を含む授業改善を進めていく。
- 「かごしま教員育成指標」を活用して自己研鑽に努め、使命感をもって職務を遂行できるよう意識向上を図っていく。